

梨農家たちの座談会

特集

いよいよ8月に最盛期を迎える梨。梨農家にとっても、収穫の時期は1年間の集大成です。天候と向き合いながら丹精込めて育てた梨の舞台裏と、生産者の本音に迫ります。

ー今年の梨の出来栄はどうですか？

大高さん 期待できそうですね。今年は春先が暖かったことで、実が大きくなりそうだと予想しています。

ー1日の収穫量とこの時期のスケジュールを教えてください。

荒井さん 採れる時は1日1tくらいですね。
大高さん うち1人で収穫しているので頑張っても400kgくらい。

中村さん うち10人くらいでやっているの、多い時で2.5tくらいです。

下の写真の収穫コンテナひとつにつき、約20kgの梨が入ります。収穫量れだと、約50個のコンテナが必要となります。

荒井さん 朝は4時頃起きて5時30分から収穫作業を始めます。収穫自体は大体2～3時間かな。

中村さん うち9時に選別のパートさんが来るので、それまでに収穫を終わらせています。10時から直売が始まるので、その合間に配送作業。その後は伝票起こしなどの作業が夜まで続きます。休憩はお客さん次第なので、カップ麺なんかは食べられないですね(笑)

一年間を通して一番大変なのはやはり収穫の時期ですか？

荒井さん 個人的には夏よりも、冬の剪定が一番大変ですね。

中村さん 私は剪定が一番面白い。それぞれの農園ごとの技術が出るころなので。

大高さん 私も剪定が一番やる気出るかな。一番気が進まないのが摘果(笑)

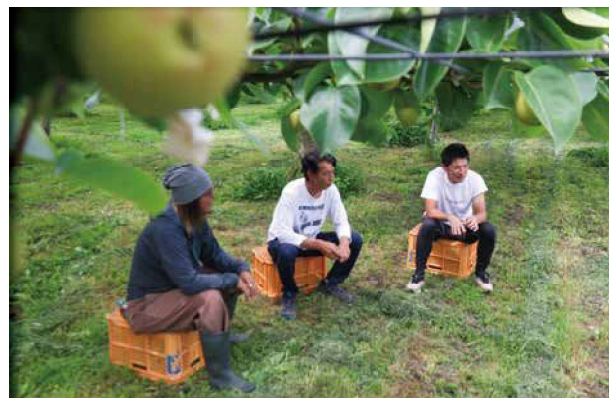
※摘果(てきか) …栄養を集中させて大きく育つように、果実を開引く作業。

中村さん 気が進まないと言うと、私は交配かな…。成果が見えないので、終わりが見えにくいんですね。

アライファーム
荒井 庄一さん
梨農家歴：16年

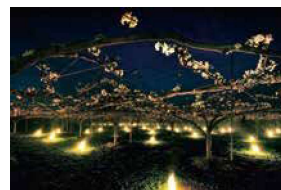
中村梨園
中村 孝さん
梨農家歴：20年

大高農園
大高 雅史さん
梨農家歴：25年



ー梨農家をやっている中で印象的なエピソードがあれば教えてください。

中村さん 平成27年4月の霜害ですね。花が咲く直前に霜が降りると低温障害で実がなくなるので、農園の中に空き缶を並べ、灯油を入れて火を焚きました。夜中12時から朝の5時まで、灯油を足しながらずっと火をつけていましたね。大高さん家の方だと、春先に大雪が降った時もあったよね。



◀樹の花に雪が降りないように、農園の中に空き缶に灯油を入れて、火をつけている風景。空気が(ぼうそう)焚き、と書こうです。写真で見る、まるでキャンプがルイトのような幻想的な雰囲気ですが、実際の作業となるため、言うまでもなく、とても大変です。

るじゃないですか。この件でまさに、やる気になったら壁を打ち破れるということを実感しましたね。



▲大量に降り注いだひょうによって、大きいたわんでしまったネット。手のひらサイズの大きなひょうです。



▲令和4年6月の降りひょう被害で、壊れてしまった梨。市内梨園の約半数に当たる15ヘクタール程度の面積が被災し、被害を受けた梨園では、約7割の果実に傷がつき、規格外品となってしまう。そんな痛った梨を無駄にしないために生れたのが、しらおか情報センターのバウンドクーキ(右)です。



ー梨農家を始めた当時と今との違いはありますか？

大高さん だんだんと周りの農家の数が減ってきているので、それは残念に思いますね。

荒井さん あとは、最近の暑さで開花が早くなって、交配や摘果のタイミングも昔とは変わってきています。

ー市民のかたに伝えたいことはありますか？

荒井さん これはどの梨園もそうだと思うのですが、せっかく来てもらっても、数か限られているため販売できないこともあるので、直売に来ていただく際はぜひ予約(※)をしてきてほしいです。



しらおか梨の販売場所は、「しらおか地図情報サービス」でご確認ください。



白岡美人ができるまで

10月～3月 枝の剪定

木1本に対して半日～1日かかることも。半年間毎日作業が続くので、首・肩・腰には大きな負担が。

4月 交配、花掛け

多くの梨は違う品種同士でしか受粉できないため、人工交配が必須です。

5月 摘果(てきか)

良い果実を残して他を開引くことで、ひとつの果実に栄養を集中させます。

6月 緑枝管理

剪定の前段階。既に来年の梨を見据えます。

7月～9月 収穫

いよいよ収穫！ジューシーな渾身の1玉を召し上がれ！



白岡美人 SHIROKA BIJIN とは…
みずみずしく、甘みたっぷりの梨は白岡を代表する特産品。梨の品種を問わず、見た目にも味にも優れた白岡産の梨は、「白岡美人」という愛称で親しまれています。

問合せ 農政課農政担当